

2018年5月1日作成

Ver.1.1

## 公開しなければいけない臨床研究

### 臨床研究の情報公開について

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療データをまとめたり、当院に保管してある試料（血液検体や病理標本等）を用いたりして行います。このような研究は、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされております。

利用する情報や検体からは、お名前、住所など、直接同意できる個人情報削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

この研究に関して、研究計画や関係する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

#### 【個人を特定できる場合】

ご自身またはご家族等が、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないと思われる場合や研究不参加を申し出られた場合は以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。その際はこの研究で得たあなたの試料・情報等は全て廃棄いたします。いずれの場合もなんら不利益を受けることはありません。

#### 【個人を特定できない場合】

利用する試料・情報は特定の個人を識別することが出来ないように加工した情報のため、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないとして申し出ていただいても個人を特定できないため対応できません。あらかじめご了承ください。研究に関するお問い合わせなどがある場合には下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究課題名	切除可能（Primary resectable）膵癌における早期再発/予後不良因子についての後ろ向き研究（多施設共同研究）	
所属（診療科等）	長崎大学病院 肝胆膵外科・肝移植外科	
研究責任者(職名)	江口 晋(教授)	
共同研究機関	<<研究代表施設>> 長崎大学病院 肝胆膵外科・肝移植外科 江口 晋 <<共同研究施設>> 1. 大分大学消化器小児外科 猪股 雅史 2. 北九州市立医療センター外科 西原 一善 3. 九州大学臨床・腫瘍外科 中村 雅史 4. 九州がんセンター内科 古川 正幸 5. 熊本大学消化器外科 馬場 秀夫 6. 久留米大学消化器内科・がん集学治療センター 岡部 信義	

	<p>7. 佐賀大学一般消化器外科 能城 浩和</p> <p>8. 佐世保共済病院消化器内科 井口 東郎</p> <p>9. 産業医科大学消化器内分泌外科 平田 敬治</p> <p>10. 山王病院内科 船越 顕博</p> <p>11. 鹿児島大学病院消化器外科 新地 洋之</p> <p>12. 福岡大学筑紫病院消化器内科 植木 敏晴</p> <p>13. 宮崎大学肝胆膵外科 七島 篤志</p> <p>14. 山口大学消化器・腫瘍外科学 永野 浩昭</p> <p>15. 琉球大学医学部付属病院第一外科 西巻 正</p>
研究期間	2018年7月25日～2018年12月31日
研究目的と意義	本研究では、切除可能膵癌膵頭十二指腸切除後、早期再発症例の術前及び術中・術後因子を後方視的に解析し、特に術前因子で早期再発症例の予測が可能であるかを検討し、術前治療が妥当な切除可能膵癌を抽出し予後の改善に繋げることを目的とします。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>平成19年1月1日から平成28年12月31日までの10年間、切除可能膵癌に対して外科的切除(膵頭十二指腸切除)を行った方を対象とします。</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、CT画像検査)</p> <p>手術情報、病理組織結果、周術期管理情報、術後合併症、術後治療情報、予後データ</p> <p>その他、詳しい項目について知りたい方は下記の問い合わせ先に御連絡下さい。</p>
	<p>●研究方法</p> <p>上記のカルテ情報を用いて、患者情報、手術成績、術後情報、術後治療に関する情報や予後データについてデータ解析を行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：井口 東郎 佐世保共済病院 腫瘍内科</p> <p>住所：佐世保市島地町10-17</p> <p>電話：0956 (22) 5136</p>